

4/7 町内9行政区と災害時における各行政区間の 応援・協力に関する協定を締結

昨年9月の関東・東北豪雨災害で大きな浸水被害を受けた町内9行政区（本船町、下仲町、上仲町、上町、宮本町、坂花町、新吉町、山神町第1区、2区）が災害時の連絡体制の強化や、被災者支援などの相互応援・協力のために連携協定を締結しました。

今後は、独自の災害対応マニュアル作成や、講習会・防災訓練の共催を通して、住民の防災意識の向上と連携を目指していきます。
橋本町長は、「情報の共有によって防災、減災につながる」と述べました。



協定調印式の様子（9行政区区長と橋本町長）

4/14 ガス保安協会と災害時におけるLPガス等の 供給に関する協定を締結

町では茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部（風見正一支部長）と「災害時におけるLPガス等の供給に関する協定」を締結しました。

この協定の締結により、災害発生時に避難所での炊き出し等に必要の燃料や設備をガス保安協会より提供していただき、被災者を迅速かつ的確に支援することが期待されます。

LPガスボンベは、移動設置が比較的容易で阪神淡路大震災や東日本大震災でも被災地の避難所生活の安定に力を発揮してきました。



写真右から橋本町長、風見支部長、平川さん、小松原さん

寄付・寄贈

4/9 ボーイスカウト境第一団が町へ寄付

ボーイスカウト境第一団（小野里勝元団委員長）が、青少年育成に役立てていただきたいと110万円を寄付されました。



寄付に訪れた境第一団の皆さん

4/7 茨城むつみ農協が黄色の交通安全帽子を寄贈

児童の登下校時の安全を願って、茨城むつみ農協より黄色の交通安全帽子が小学校新入生192名に贈られました。



写真右から佐々木猿島支店長、金久保常任理事、橋本町長、増田教育長

4/9 光山久子さんが町へ寄付

光山久子さんが、教育振興に役立てていただきたいと10万円を寄付されました。

4/14 常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

常陽銀行の成井久朗境支店長が役場を訪れ、この春入学する小学1年生の防犯に役立てていただきたいと防犯ブザーが小学校新入生192名に贈られました。



写真右から齊藤公務役、成井支店長、橋本町長、増田教育長

4/14 境ロータリークラブがAEDを寄贈

境ロータリークラブ（福田吉晴会長）がAEDで守れる命を助けるために役立ててほしいとAED1台を寄贈されました。



寄贈に訪れた福田会長（写真右）

俳句

二月二十七日 境町文化協会俳句部

兼題 「春浅し・初午・餅草」他当季雑詠

故郷の餅草摘めり地の恵み 省三

※神奈川県北の住・工都市に住む作者にとつて、境町は第二の古里だ。生まれ故郷にも似た境の田園は自然豊かで美しい。時折、訪れては美術仲間との旧交を温め自然に触れて帰るのである。

羽織るもの人それぞれや 春浅し 信子
※三寒四温は元々中国北部や朝鮮で見られる気象現象のことだが、昨今の天気もまた変化が目まぐるしい。これでは、着るものに「苦労する」のも道理である。確かに「人それぞれ」なのだ。

就航の近き高瀬や 春浅し 幸子
※耳を澄ませば、境河岸の方から「堰を切ったよ」に船のエンジン音が聞こえてくる。誰もが待ち侘びた高瀬舟就航へむけての試運転の音だ。春はもう其処まで来ているのである。

足腰の不自由忘れ 蓬摘む なか
初午や 小さき祠に 赤き幡 ちから
利根堤 日射し背に受けよもぎ摘む 譲一
餅草や 空の碧さの 果てし無さ 久子
春浅し 小さな町に 明け暮れる 正六
木々の芽の 膨らみ見えず 春浅し と
初午や 赤い鳥居に 油揚げ 登
春近し 耕す土の 粒匂ふ とき
母を知る 人に教わり 餅草つむ まもる
初午や 家風受け継ぐ すみつかれ 弥生
ちよこちよこ 孫の走りや 春浅し みえ
よもぎ摘み 弾む話題の 他愛無さ たわい
初午の豊穡祈願の 幟かな 光夫
よもぎ摘む 若妻達の 嬉々として きみ代

短歌

境短歌会 山鳩

小松菜を 食べたいと言ひ 逝きしゆえ 母の忌日に 茹でて供える 鈴木喜与子
サラサラと 風花舞うて 寒き朝 狂い咲きする 木瓜の花見ゆ 桜井レイ

十歳も 離れし弟の 旅したく 惨き運命に 震え止まらず 齊藤敬子
ただいまの 元気な声に 安堵する 通学路にも 残り雪見る 川村米子

熱海へと 友に誘われ 訪れし 温泉宿で 至福の思い 風間リヨ子
沈丁花 春一番に ゆるぎなく 栄光という 香りの花よ 川上ヒサ

風雪の 荒れる各地へ 春一番 つむじ風 吹き被害もたらす 稲田美重子
鉢植に 咲きし花ばな 枯れ果てて 雑草となり 大はよろこび 飯田俊子

学校に行けと わ云いぬ おぼちゃんは 世界で 一つの花になればと 松岡美智子
夕空に 寂しくも 見ゆ 三日月の 如月に 吹く風の 冷たさ（旧暦一月三日） 本島いと子

学友が 遠方よりし 尋ね来て 人生一の 至福の時なり 五月女三枝子

寒さが ゆるみ 桜の 季節となり ました。 入学式、 入社式など 希望に 満ちた 人生の 一歩を 踏み出す 人も たくさん おります。 思ひます。 二十四 節気の一つで 四月五日 頃を 清明と言ひ 草花が 咲きは じめす すべてのもが 清新に 満ちる 時候を 言うそ うです。 清く 明るく と言う 事は とても 良い 事だと思ひ ます。 日々 つとめて 明るく 過ごして 行けたら 良いと思ひ ます。

「広報さかい」へ有料広告を掲載しませんか？

広告掲載料 ◎ 1段全枠 15,000円 ◎ 1段半枠 8,000円

※詳しくはお問合わせください。

お問い合わせ先 役場秘書広聴課 電話 0280 (81) 1329 E-mail kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

広告募集中